

久恒啓一教授、飯田健雄教授「退任記念最終講義」

2019年1月17日、今年度で退任される久恒啓一教授と飯田健雄教授による「退任記念最終講義」が行われました。はじめに杉田文章経営情報学部長より、各教授のプロフィールが紹介されました。「久恒教授は2008年に多摩大学教授に就任、学長室長、学部長、副学長、その他多くの役職を担い、10年間多摩大を率いてくださりました。多摩大の歴史上、なくてはならない存在です」。また、「飯田教授は、開学1年前の開学準備室の頃から、多摩大学をつくりあげる作業にたずさわってこられました。開学と同時に教壇に立たれ、専任教員として30年間多摩大の教育を支えてくださりました」。そして、「専任教員としてお聞きすることができる最後の講義をしっかりと胸に留めるよう拝聴しましょう」と会場に呼びかけました。

講義終了後、両教授には大学から花束と同窓会から記念品が贈呈され、学生や教職員は温かい拍手で感謝の思いを伝えました。

「これまでの私、これからの私 失敗・未来」久恒 啓一 教授

教育、社会貢献、プライベート、家族などあらゆる情報は、自身で管理・運営するHPに日々蓄積。「自分のつくったビッグデータがなければ知的生産物は生まれない」。学生時代や会社員時代の失敗談を語り、「若いときに失敗することは重要」。「成功の反対は失敗ではない。なにもしないこと」など失敗をめぐる名言を紹介し、「失敗をしてその教訓をどう得たかが大切。人生観、価値観を持たない人は弱い」と話しました。「自分はどのようなか、人生のライフデザインを考えておくことが重要」「人の偉さは人への影響力の大きさ。人により影響を与えられる人になるよう常に学び続けなければいけない」。退任に際し「一片の悔いもなく、爽やかな気持ちで多摩大を卒業できるのはうれしい」「未来を語らなければ発展はない。現状の問題を解決するだけでなく、未来を考える習慣を身につけてください」。



「A PICTURE TELLS A THOUSAND OF WORDS」飯田 健雄 教授

タイトルは英語のことわざで、「写真は言葉よりも多くを語る」という意味。生い立ちから現在まで写真で自身を紹介。「多摩大での30年間はあっという間に過ぎ去ってしまった」。また、「生まれた時代によって生き方が違う。価値観自体に進歩の有無はない」。幼少期は家業を手伝い、経営者教育は小学校1年から。高校時代は三段跳びの選手、オーストラリアには奨学金で留学。タイのクワイ川、ベトナムのホーチミンとサイゴン、ブラジルのサンパウロの日本人街、メキシコのテオティワカンの遺跡、カナダのトロント、ギリシャ、タヒチのビーチ、中国の広州など豊富な海外体験を語り、「若いうちに海外のいろいろな場所に行くように。行ってみないと世界は分からない。行ったからこそわかることがあります」。最後に「これからの時代は、想像できないことを想像して生きてください」と会場に伝えました。



多摩大学 体育会フットサル部

「東京都大学フットサルリーグ 2018」全勝優勝!!

2019年2月27日、駒沢オリンピック公園屋内球技場にて、「Super Sports XEBIO 東京都大学フットサルリーグ 2018」第9節 多摩大学フットサル部 対 慶應義塾大学サッカー部の試合が行われ、8対1で多摩大学が圧勝しました。この大会は東京都内の大学のフットサルチームが対戦するリーグで、全7試合が終了した同日、多摩大学の全勝優勝が決まりました。

表彰式の後、キャプテンの南雲颯太さん（2年生）は、「対戦相手の慶應義塾大学には2回負けているので、リベンジしたかった。チームが一つとなり、みんなで勝つことだけに集中、自分たちのフットサルで戦うことができた。キャプテンとして、チームの雰囲気がよくなるよう意識して声かけをしました」。また、福角有紘監督は優勝の要因として、「みんなが主体性をもって、自分たちで考えながらゲームを



つくり上げたことが大きい。私は一歩下がって、それをサポートするかたちで接している。練習やスケジュールも自ら考えるなど能動的に動けるチームになってきたことが、ピッチの中のゲームにも表れています」。選手たちへのメッセージとして、「若いので多くの失敗を経験するかもしれません。失敗しながらでもいい。時間もかかるでしょうが成長してほしい。努力して都の大学フットサルで一番を取ったことにより、大きな達成感を得たと思う。フットサルの経験が、この先の彼らの人生につながっていけばいいと願っています」と話しました。

〈2018年度 その他の主な戦績〉(2019.3.6現在)

- エイブルチャンピオンズカップ第2回関東大学フットサルリーグ 2018 : 8勝1敗1分(全10試合) → 準優勝 (KOBECUP出場権獲得 3/19・20)
- F育成リーグ : 7勝0敗1分(全8試合)
- 第24回全日本フットサル選手権 東京都大会予選Aブロック : 3回戦まで進出(勝ち残り式トーナメント)